

ソフトウェア・バージョン 1.2 の新機能

NAUTILUSソフトウェア・バージョン1.2では、プログラム・バンク/ウェーブ・シーケンス・バンクの拡張と、それに伴う各種画面の変更、およびKRONOSで作成されたPCGファイルのロードに対応しました。

ソフトウェア・バージョン1.1以前をお使いの方は、コルグ・ウェブサイトから無料でダウンロードすることができます。

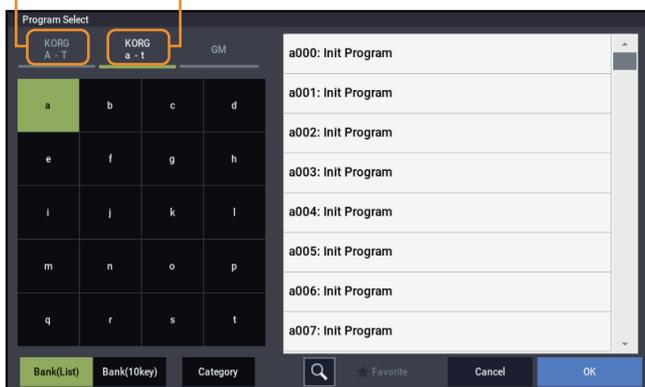
すべてのNAUTILUSに対してアップデートすることができます。また、どのソフトウェア・バージョンからでも、ソフトウェア・バージョン1.2へアップデートすることができます。

プログラム・バンクの拡張

ソフトウェア・バージョン1.1以前ではA~Tまでの20バンクだったPROGRAMモードのKORGバンクを、A~T、a~tまでの40バンクに拡張しました。より多くのプログラムを保存したり、今後リリース予定のサウンド・ライブラリーをロードしたりすることができるようになります。

KORG バンク A~T ボタン

KORG バンク a~t ボタン



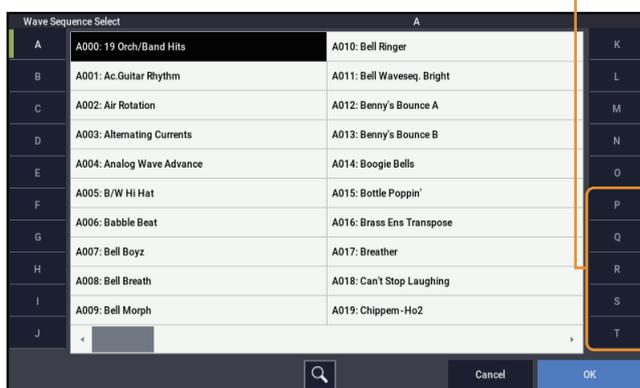
KORGバンクA~Tボタン : KORGバンクのA~Tを選択します。

KORGバンクa~tボタン : KORGバンクのa~tを選択します。

ウェーブ・シーケンス・バンクの拡張

ソフトウェア・バージョン1.1以前ではA~Oまでの15バンクだったウェーブ・シーケンスのバンクを、A~Tまでの20バンクに拡張しました。より多くのウェーブ・シーケンスを保存したり、今後リリース予定のサウンド・ライブラリーをロードしたりすることができるようになります。

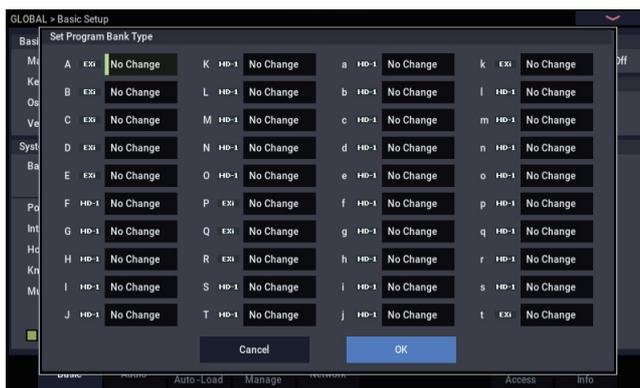
追加バンク P~T



Global : Page Menu Command : Set Program Bank Type

プログラムのバンク数拡張に伴い、GLOBALモードのページ・メニュー・コマンド、「Set Program Bank Type」の画面を変更しました。

Note: 拡張されたバンク数の選択肢が増えたこと以外の、機能の変更はありません。



Global : Page Menu Command : Change all bank references

プログラム・バンクの拡張に伴い、GLOBALモードのページ・メニュー・コマンド、「Change all bank references」の画面を変更しました。

また、ウェーブ・シーケンス、ドラム・キットの参照バンクの変更にも対応しました。

Program選択時:

Bank A ~ T, a ~ t 表示範囲切り替え



コンビネーションのティンバーや、ソングのトラックに設定してあるプログラムのバンクを一斉に変更します。コンビネーションに対して変更を実行する場合には、「Combination」をチェックします。ソングに対して変更を実行する場合には、「Song」をチェックします。画面左側の「A - T」、「a - t」ボタンで、プログラム・バンクの表示範囲を切り替えます。

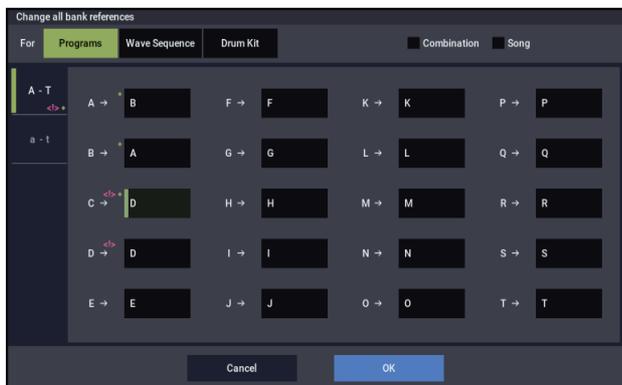
参照先が変更となるバンクには、緑色の◆マークが表示されます。また、変更先が重複する場合には、注意を知らせる<|>マークが表示されます。

画面左側の「A - T」、「a - t」ボタンの右下にも同様に参照先変更の有無、変更の重複を知らせるマークが表示されます。

設定した変更を適用するときには「OK」ボタンを、キャンセルする場合には「Cancel」ボタンを押します。

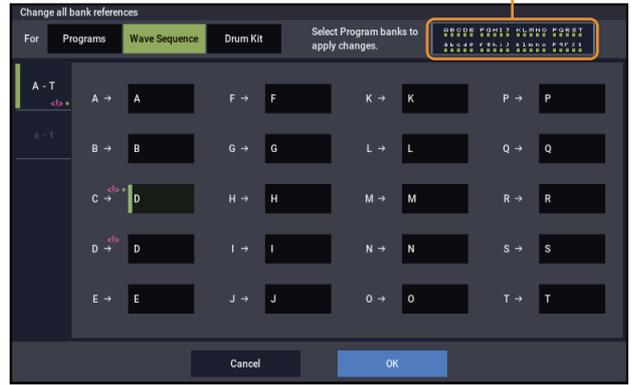
Note: 「OK」ボタンで変更の適用は、画面上のA~T、a~tの表示の状態に関わらず、A~T、a~tの全てに対して行われます。

⚠ 別々のバンクを同一のバンクに変更した場合、この機能を使って再度別々のバンクに戻すことはできません。変更先のバンクが重複しないように注意して実行してください。



Wave Sequence選択時:

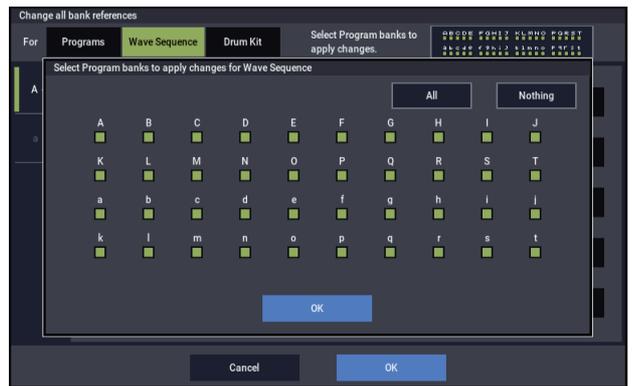
Program Bank 選択



プログラムに設定してあるウェーブ・シーケンスのバンクを一斉に変更します。

ウェーブ・シーケンスを入れ替えるバンクを、それぞれ指定します。参照先が変更となるバンクには、緑色の◆マークが表示されます。また、変更先が重複する場合には、注意を知らせる<|>マークが表示されます。

画面右上のProgram Bank選択を押すとダイアログが表示され、適用するプログラム・バンクを選択することができます。ここで選択したプログラム・バンクに、変更が適用されます。



チェックボックスのON、OFFで適用するバンクを選択します。

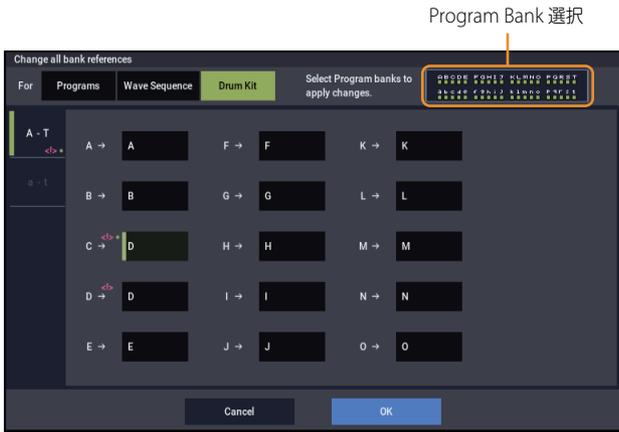
「All」ボタンを押すと、全てのチェックボックスがONになり、「Nothing」ボタンを押すと、全てのチェックボックスがOFFになります。

「OK」ボタンでProgram Bank選択ダイアログを閉じます。

設定したWave Sequence Bank参照の変更を適用するときには「OK」ボタンを、キャンセルする場合には「Cancel」ボタンを押します。

⚠ 別々のバンクを同一のバンクに変更した場合、この機能を使って再度別々のバンクに戻すことはできません。変更先のバンクが重複しないように注意して実行してください。

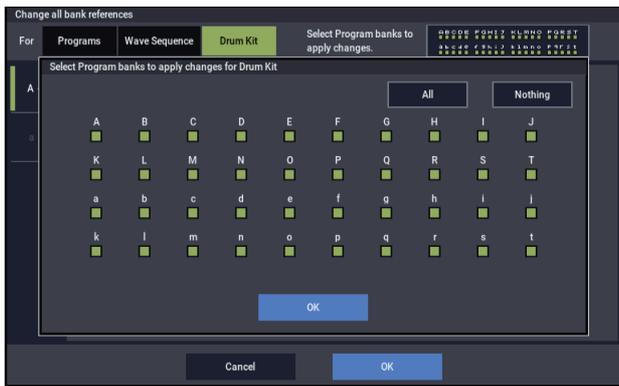
Drum Kit選択時:



プログラムに設定してあるドラム・キットのバンクを一斉に変更します。

ドラム・キットを入れ替えるバンクを、それぞれ指定します。参照先が変更となるバンクには、緑色の◆マークが表示されます。また、変更先が重複する場合には、注意を知らせる<!-->マークが表示されます。

画面右上のProgram Bank選択を押すとダイアログが表示され、適用するプログラム・バンクを選択することができます。ここで選択したプログラム・バンクに、変更が適用されます。

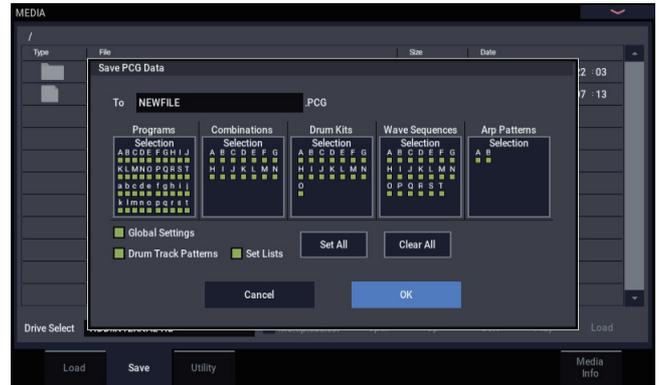


チェックボックスのON、OFFで適用するバンクを選択します。
 "All"ボタンを押すと、全てのチェックボックスがONになり、
 "Nothing"ボタンを押すと、全てのチェックボックスがOFFになります。
 "OK"ボタンでProgram Bank選択ダイアログを閉じます。
 設定したDrum Kit Bank参照の変更を適用するときには"OK"ボタンを、
 キャンセルする場合には"Cancel"ボタンを押します。

! 別々のバンクを同一のバンクに変更した場合、この機能を使って再度別々のバンクに戻すことはできません。変更先のバンクが重複しないように注意して実行してください。

MEDIA : Page Menu Command : Save PCG

プログラム・バンクの拡張、ウェーブ・シーケンス・バンクの拡張に伴い、MEDIAモードのページ・メニュー・コマンド、「Save PCG」の画面を変更しました。



バンク拡張に伴う画面の変更以外、機能の変更はありません。

MEDIA : Page Menu Command : Load Selected

ソフトウェア・バージョンv1.1までのNAUTILUSで作成されたファイルのロードに加え、KRONOSで作成されたPCGファイルのロードに対応しました。

KRONOS/NAUTILUSの共通のパラメーターがロードされ、KRONOSで作成した音色をNAUTILUSで使うことができます。

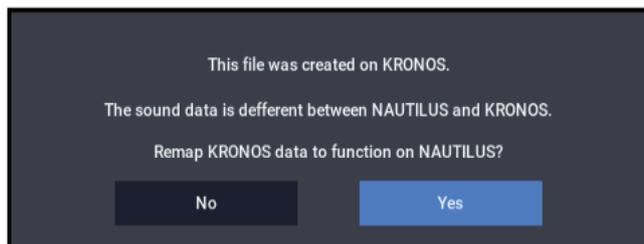
Note: KRONOS固有の機能、NAUTILUS固有の機能に関しては正しく再現されません。

例えばNAUTILUSではKRONOSのKARMA機能を搭載していないので、KARMA関連のパラメーターはロードされません。KRONOSが搭載していないアルペジエータ関連のパラメーターは、初期値に設定されます。

Note: KRONOS固有のサウンド・データは、発売予定のサウンド・ライブラリーにて供給されます。そのサウンド・ライブラリーを参照する形でロードされます。

KRONOSのPCGファイルの読み込み

KRONOSで保存したPCGファイルを選択し、Loadボタンを押した場合、KRONOSの音色配列をNAUTILUSの音色配列に自動変換するかどうかの確認ダイアログが表示されます。



KRONOSとNAUTILUSではプログラムやウェーブ・シーケンスの順番が異なるため、PCGファイルを読み込んだだけでは正しく発音することができません。ダイアログで「Yes」を押すと音色の参照先が自動で補正されて、正しく発音できるようになります。

「No」を押すと変換は行われず、Load Allで実行すると以下の表に対応するバンクが上書きされます。

 KRONOSのPCGファイルを読み込む際、プリロード音色以外のバンクにロードされます。ご自身で作成した音色などが保存されている場合、上書きされることがありますのでご注意ください。また、ダイアログで「No」を選択した場合、NAUTILUSのプリロード音色（リストの*印）も上書きされますのでご注意ください。

Note: プログラム・バンク等を個別に読み込んだ場合、Global > Change all bank referencesで参照の変更が必要です。

Note: 一部の音色は完全に再現されない可能性があります。

Note: KRONOSでのSET LISTの-slotの色は再現されません。

Note: KRONOSのSET LISTに名前が付いている場合、NAUTILUSでは-slotに名前が表示されます。(→Parameter Guide 「SET LIST」)

Note: KRONOS X以前のモデルの音色配列の変換対応はサポートされません。

Note: KRONOSで保存したGlobalデータは読み込まれません。

Note: プログラム、コンビネーションの音色のカテゴリーはUserとして読み込みます。

Note: コンビネーション、ウェーブ・シーケンス、ドラム・キットは、それぞれ先頭からロードできる音色の数が決まっています。

コンビネーション：1536個
ウェーブ・シーケンス：352個
ドラム・キット：160個

Program Banks

KRONOS		NAUTILUS
I-A	→	A*
I-B	→	B*
I-C	→	C*
I-D	→	D*
I-E	→	E*
I-F	→	F*
U-A	→	G*
U-B	→	H*
U-C	→	I*
U-D	→	J*
U-E	→	K*
U-F	→	L*
U-G	→	M*
U-AA	→	N*
U-BB	→	O*

KRONOS		NAUTILUS
U-CC	→	P
U-DD	→	Q
U-EE	→	R
U-FF	→	S
U-GG	→	T

Combination Banks

KRONOS		NAUTILUS
I-A	→	A*
I-B	→	B*
I-C	→	C
I-D	→	D
I-E	→	E
I-F	→	F
I-G	→	G
U-A	→	H
U-B	→	I
U-C	→	J
U-D	→	K
U-E	→	L
U-F	→	M
U-G	→	N

Wave Sequence/Drum Kit Banks

KRONOS		NAUTILUS
Int	→	A*
U-A	→	B*
U-B	→	C*
U-C	→	D*
U-D	→	E*
U-E	→	F*
U-F	→	G*
U-G	→	H*
U-AA	→	I*
U-BB	→	J
U-CC	→	K
U-DD	→	L
U-EE	→	M
U-FF	→	N
U-GG	→	O

KORG INC.

4015-2 Yanokuchi, Inagi-City, Tokyo 206-0812 JAPAN

© 2021 KORG INC.

Published 10/2021